

我が町の協力隊

～協力隊になるまで編～

よこまはると

横山 春人さん

現在：36歳

進路に悩んだ学生時代

沖縄の体験型牧場を訪問し、キラキラと楽しそうに働く大人の姿を目にした。

こんな大人になりたい！

思いきって沖縄で就職

動物を飼い、建物を作り、食べ物を育て、必要なものを自分たちでつくる自給自足の暮らしの中「生きる」につながる仕事を経験。

沖縄の自然の中

大変な事も多かったが、「自然の中で働き、生きる喜び」を感じ、目指す生き方が決まる→「自分の暮らしを自分で作っていく」。

理想の土地探しの始まり

沖縄で経験した「幸せな暮らし」を家族で作っていかうと考え、場所を探し始める。

仕事と暮らし

沖縄での経験を活かした大工仕事や庭仕事で、空き家の改修やお店作りなど、「自然に寄り添うような場所作り」に関わる。

土地を探しながら、大阪府の里山に3年、広島県の島に3年、家族で田舎暮らしを経験する。

「水」の大切さ

西日本豪雨で被災した際に、自分たちの手で作り出せない「水」の重要性を痛感し、「山の水」での暮らしを考える。

思い描く理想の環境

土地の水で生活し、温暖で、山・川があり、食べ物を育てる田畑があり、交通の便が良い場所を求め…

数年がかりで90市町村近く、様々な土地を訪れた末

森町へ

妻の出身地でもある静岡県に訪れ、見つけた森町。理想的な地域と環境、温かい人たちに巡り合い、家族で移住を決断。

暗中模索のような状態

自分たちの理想の土地は本当に見つかるのか…？

現在

三倉・中村地区へ移住。

色々な場所作りで培った経験をこの土地で活かしたいと思い、森町の地域おこし協力隊になる。

活動テーマ：

空き家利活用と定住推進コーディネーター

活動内容：

空き家の掘り起こしと利活用による移住・定住の推進・移住交流事業 など

ポロポロの麦わら帽子

あだ名は「はるとん」



9月の活動報告

佐野

- 友田家関連
田んぼ、茶畑草取り
- ゲストハウス関連
焼杉作りWS、外壁
- 手仕事関連
葛布調査
- イベント関連
音楽会企画運営、WS企画
- その他
農林大生演習

横山

- 移住定住
移住相談、物件案内
- 空き家の調査
城下地区
- 地域
災害復旧作業（道路、茶工場など）
- 交流田んぼ関連
稲刈り、はざ掛け、森中職業体験
- その他
農林大生演習

松葉

- 商品開発関連
クラフトビール準備（仕込み手伝い・ラベル貼・瓶詰め）、ビール配達、とうもろこし加工品開発
- 広報関連
森町地域おこし協力隊新聞編集作業、クラフトビール販売発表報道対応
- その他
農林大生演習

岩瀬

- 移住定住相談
移住相談、店舗相談
- 空き家の調査
城下地区
- 空き家利活用推進
旧レコード店改修、鍛冶島交流拠点改修、実験店舗TANEMO協力
- 関係人口創出
とうもろこし加工品開発、農林大演習、小布施視察

森町地域おこし協力隊新聞

令和4年（2022年）

10月

第4号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香（パチカ）

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課

西向きジャーナル

山暮らし小さな手仕事レシピ

引越してきたのは、山の上にポツンとある一軒家。亀久保集落にあり、屋号は「西向き」。森町では屋号で呼び合う文化があると教えてもらい、愛着が沸く。三千坪の山竹林と原野には、様々な果樹が至る所に植えられている。突然、季節に追われる生活になり、まず到来したのは『梅仕事』。梅畑には、甲州小梅や南高梅など数種類の梅がたわわに実った。

さて何を作ろう。梅干し、梅シロップ、梅酒、梅ジャム、常備薬の梅肉エキス。今年は変わり種で、梅シロップにスパイスを漬けてみた。巷ではクラフトコーラがはやっているので、梅コーラと呼んでみる。

・梅コーラの材料

【材料】4リットル瓶ひとつ分

黄熟梅…2kg

氷砂糖…1.4kg (梅の重量に対し70%)

りんご酢…大さじ2

スパイス類 (お好みで調整)

・シナモンスティック…3〜4本

・カルダモン…10〜20粒

・クローブ…5〜10粒

【作り方】

①梅を洗い、丁寧に水気を拭き取り、ヘタを取り除く。②消毒した瓶に、梅と氷砂糖を交互に、スパイスも適当に混ぜながら入れていく。③最後にりんご酢を振りかける。④冷暗所に置き、一日一回瓶を揺する。⑤氷砂糖が完全に溶けたら、出来上がり。およそ2リットルの出来上がりとなる。

炭酸水などで5倍に薄めて、召し上がれ。

佐野祥 (サノシヨウ)・森町地域おこし協力隊

沖縄で伝統織物の織り子、2年間の海外新婚旅行を経て、森町で循環型の里山暮らしを実践。主に、里山の保全、イベント企画運営を行っている。



移住コーディネーター
いわせしんや
岩瀬進哉

移住コーディネーター通信

先日の台風15号の猛威で、移住交流事業の一環で育てている鍛冶島の棚田の一部が泥水に飲まれました。協力隊員も、被害が大きかった三倉天方地区に2名が住んでおり、こうして原稿を書いている今も、土砂崩れや浸水などの被害に遭われた多くの方が困難な状況に直面されています。私の力は微力ですが、こんな時だからこそできる協力活動をやっていきたいと思っています。

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場 (定住推進課)

0538-85-6321



こんにちは、バチカです
夏も終わりつつある
9月の半ばに

梨ビールの販売が
始まりました

梨ビールは「ホワイトビール」というスタイルのビールがベースとなっています

通常のビール
大麦麦芽を使用

ホワイトビール
大麦麦芽と小麦を使用

副原料として
スパイス類も入れるため
さわやかな香りも特徴です

梨の甘酸っぱい香りもして
しあわせな一杯を味わえます

秋の夜長にゆっくり
飲んでみてはいかがでしょう